

**ARCHICAD 20 Solo**  
**はじめにお読みください**

**GRAPHISOFT®**  
A NEMETSCHEK COMPANY

## **GRAPHISOFT®**

特約店および製品情報に関しては、グラフィソフト社ウェブサイト  
(<http://www.graphisoft.co.jp>) をご覧ください。

## **ARCHICAD 20 Solo はじめにお読みください**

Copyright (C) 2016 by GRAPHISOFT, all rights reserved. 事前に書面で明示された許可のない限り、転載、表現の書き換え、翻訳は禁止されています。

## **商標**

ARCHICAD® は GRAPHISOFT の登録商標です。  
記載されている会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

---

# 目次

<b>ARCHICAD 20 パッケージ</b>	<b>5</b>
お届けするパッケージ内容	6
初めての ARCHICAD 20 セットアップ	7
ARCHICAD 20 へのアップグレード	7
保守をご契約いただいているお客様へ	8
VIPService サイトの使い方ガイド	8
<b>ライセンスについて</b>	<b>10</b>
License Manager Tool のダウンロード	10
License Manager Tool をインストール：Windows	10
License Manager Tool をインストール：Mac	12
ライセンスキーのアップデート	20
ハードウェアライセンスキー交換手順のご案内	21
<b>ARCHICAD 20</b>	<b>24</b>
ハードウェア / ソフトウェア条件	24
ARCHICAD 20 のインストール：シングルライセンス	24
ARCHICAD のライセンス	27
ARCHICAD の追加 / 修復	29
アップデート	30
互換性情報	31
ARCHICAD 20 Solo バージョンの機能制限	31
ARCHICAD ファイルを開く	31
ツール / ユーティリティ	33
ARCHICAD のアンインストール	35
サイレントアンインストール	36



# ARCHICAD 20 パッケージ

## ARCHICAD 20

ARCHICAD は建築家に、Virtual Building™ アプローチをベースにした、より生産的な建物設計を可能にさせる、強力なモデリングアプリケーションです。ARCHICAD は、単体またはチームワークにかかわらず、他の分野のコンサルタントや専門家とのスムーズなデータ交換を行いつつ、設計業務に集中することが可能になります。

## お届けするパッケージ内容

	インストール DVD	はじめにお読 みください	マウスパッド	CodeMeter キー	認証キーの ご案内
ARCHICAD 20 ハードウェア ライセンスキー	○	○	○	○	×
ARCHICAD 20 ソフトウェア ライセンスキー	○	○	○	×	○
ARCHICAD 20 アップグレード	○	○	○	×	×

### プロテクトキーの種類

ARCHICAD 20 ではソフトウェアプロテクトキー方式が導入されています。尚、CodeMeter タイプのハードウェアキーはお使いいただけますが、WIBU タイプのハードウェアキーはご使用いただけません。

プロテクトキーの種類		ARCHICAD 20 での使用
ソフトウェアライセンスキー		○
ハードウェアライセンスキー	CodeMeter	○
	WIBU	×

\* WIBU キーをお使いの場合はソフトウェアプロテクトキーまたは CodeMeter キーへの交換操作が必要です。プロテクトキーの交換操作につきましては、[21 ページ「ハードウェアライセンスキー交換手順のご案内」](#)をご覧ください。

\* プロテクトキー交換（有償）のお申し込みは、ご購入の販売店がグラフィソフトジャパンへお問い合わせください。

お送りしたパッケージの内容をご確認ください。不足しているものがございましたら、お手数ですが、グラフィソフト ジャパン株式会社までご連絡ください。

連絡先：

〒 107-0052 東京都港区赤坂 3-2-12 赤坂ノアビル 4 階

電話：03-5545-3800 FAX：03-5545-3804

出荷担当宛て

## 初めての ARCHICAD 20 セットアップ

- ソフトウェアライセンスキーの場合のセットアップです。ハードウェアライセンスキーの場合は、手順 3 からとなります。
  - 作業にはインターネット接続が必要になります。
- 1) License Manager Tool を下記のサイトよりダウンロードし、デスクトップなどに名前をつけて保存します。<http://www.graphisoft.com/downloads/licensing/> 詳しくは 10 ページ「License Manager Tool のダウンロード」を参照してください。
  - 2) License Manager Tool をインストールしてライセンスの有効化および GRAPHISOFT ID の作成を行います。詳しくは 14 ページ「ソフトウェアライセンスの有効化」を参照してください。
  - 3) ARCHICAD 20 のインストールディスクからインストールを行います。24 ページ「ARCHICAD 20 のインストール：シングルライセンス」をご覧ください。

## ARCHICAD 20 へのアップグレード

ARCHICAD 20 をお使いいただくには、次の 2 つの作業が必要です。

- 1) ARCHICAD 20 プログラムのインストール。インストールは、本パッケージにあるインストール DVD から行ってください。24 ページ「ARCHICAD 20 のインストール：シングルライセンス」をご覧ください。旧バージョンの ARCHICAD をアンインストールする必要はありません。
- 2) ハードウェアライセンスキーのアップデート。ライセンスキーのアップデートは License Manager を使い行います。詳しくはこちらをご覧ください。<http://www.graphisoft.com/downloads/licensing/>

### GRAPHISOFT ID

BIM Server のインストールの際、「GRAPHISOFT ID」アカウントを使用しての有効化が必要になります。GRAPHISOFT ID の作成は BIM Server プログラムのインストール作業の中で行えます。また、MyArchiCAD.com のアカウントでも有効化いただけます。

## 保守をご契約いただいているお客様へ

VIPService サイトのご案内 (<http://vipservice.graphisoft.co.jp>)

### テクニカルサポート

専用サポートダイヤルから電話にてお問い合わせいただけます。

お問い合わせ先は、VIPService サイトのテクニカルサポートページにある「その他お問い合わせ」をご覧ください。

### ARCHICAD Tips

材質、複合構造、線種などの属性の作り方や、手スリツール、パイプツールなどのツールの使い方、斜めの寸法の入力方、スラブに穴をあける方法、チームワーク機能の使用方法などの ARCHICAD の操作についてと、さまざまな Tips がご覧いただけます。

### オブジェクト活用ガイド

ARCHICAD のオブジェクトのパラメータについて説明しております。引き違い窓、テキスト 3D 縦書き、カーテン、目地オブジェクトなど、ご覧いただけます。

### ダウンロード

オフセットや経路の表示、座標の取得などが行える 2D 機能や、配管などを作成するパイプツール、手スリを作成する手スリツールなどの VIP アドオンや、人物、カーテン、信号機、テキスト 3D 縦書き、IH クッキングヒーターなどのオブジェクトをダウンロードすることができます。

### セミナー動画

BIM スキルアップセミナーの動画をご覧いただくことが出来ます。都合により出席できなかった方は、こちらで内容を確認することができます。

### よくある質問

最新の OS についての対応や、過去の ARCHICAD の製品情報など、ARCHICAD の技術的な部分以外で、お問い合わせが多いものを掲載しております。

## VIPService サイトの使い方ガイド

VIPService Web サイトではキーワードでの検索を使うと便利です。

検索ボックスにキーワードを入力し検索を行ってください。VIPService



キーワードの例) 属性 作り方、3D 部分 表示、[まとめ]、ライブラリ 追加

### **アンケート**

VIPservice でダウンロードできるオブジェクトは、このアンケートを参考に作成しています。ぜひ、アンケートでオブジェクトをリクエストしてください。

## ライセンスについて

注意：コンピュータ名、コンピュータユーザー（アカウント）名、GRAPHISOFT ID で登録されている会社名のいずれかに半角英数字以外の文字列や特殊な記号が含まれている場合、License Manager Tool でエラーが発生する可能性があります。全て半角英数字にて構成されることをおすすめいたします。

## License Manager Tool のダウンロード

次のサイトから License Manager Tool をダウンロードして、デスクトップなどに名前をつけて保存します。<http://www.graphisoft.com/downloads/licensing/>

## License Manager Tool をインストール：Windows

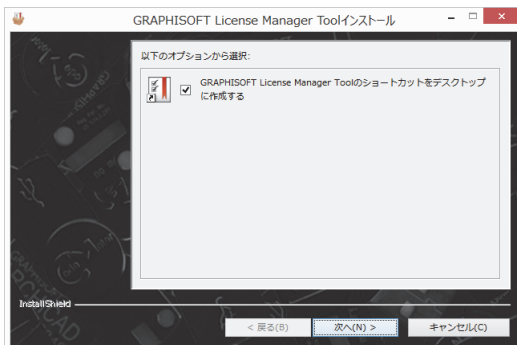
ダウンロードしたプログラムを展開します。



展開が終わるとインストールが始まりますので「次へ」をクリックして進みます。



デスクトップにショートカットを作成します。

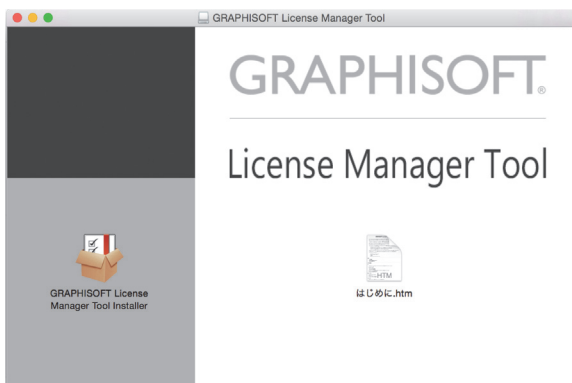


License Manager Tool を起動しない場合は、チェックをはずして終了します。



## License Manager Tool をインストール : Mac

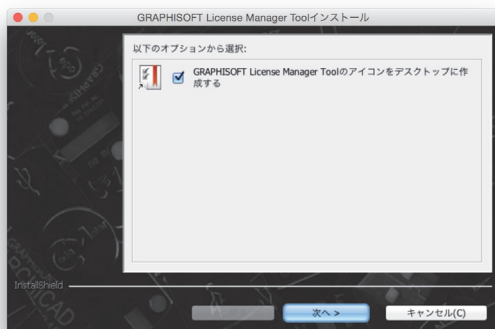
ダウンロードしたパッケージを開き、インストーラーをダブルクリックします。



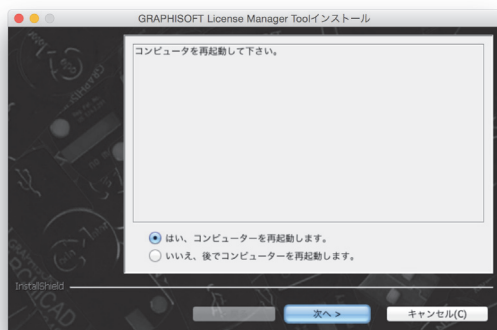
メッセージに従いインストーラーを起動させます。インストールが開始したら「次へ」で進みます。



アイコンを作成しない場合は、チェックをはずして次へすすみます。

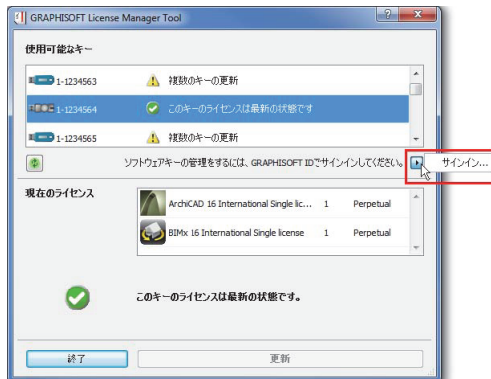


コンピューターを再起動してインストールは終了です。

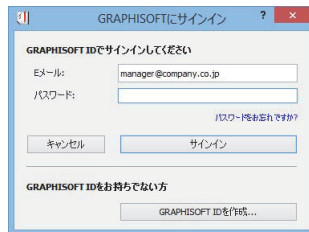


## ソフトウェアライセンスの有効化

- グラフィソフトが発行するソフトウェアライセンスの認証キーをご用意ください。
  - 認証キーは 1 社に対し 1 つの認証キーです。
  - インターネットの接続が必要です。
- 1) コンピュータから License Manager Tool を起動します。License Manager Tool のインストールは [10 ページをご覧ください](#)。
  - 2) License Manager Tool が起動しましたら、サインインして、ライセンスプール内の新しいソフトウェアキーにアクセスし、手順 4 に進みます。



- GRAPHISOFT ID をお持ちの方は、サインインしてください。MyArchiCAD.com で作成したアカウントも GRAPHISOFT ID としてお使いいただけます。
- お持ちでない方は、「GRAPHISOFT ID を作成」をクリックし、GRAPHISOFT ID を作成してください。



- 3) GRAPHISOFT ID を作成する場合、「GRAPHISOFT ID を作成」をクリックします。  
① 登録ページで必要事項を入力して「登録」をクリックします。

GRAPHISOFT MyArchCAD BIMcomponents BIMx ArchCAD-Talk Helpcenter Facebook/AC Youtube/AC

Sign up | Sign in

## GRAPHISOFT.ID

## 登録

GRAPHISOFT ウェブサイトにアクセスするには、GSIDに有効なメールアドレスを使用して登録する必要があります。このGSIDを使用してGRAPHISOFTのウェブサイトにサインインできます。すでに他のGRAPHISOFT ウェブサイトで登録されています、前のページに戻り、サインインをしてください。

国\* 名\* 姓\* メールアドレス\* パスワード\* パスワードを再入力\* 会社名 連絡設定  グラフィソフトおよび特約店から、製品およびサービスに関する情報を受け取ることに同意します。「サインイン」ボタンをクリックすることで、[利用規約](#)と[プライバシーポリシー](#)に同意したものとみなします。[About](#) [Privacy Policy](#) [Terms of Use](#)

Copyright © 2015 GRAPHISOFT SE. All rights reserved.

GRAPHISOFT is part of the Nemetschek Group



- ② 入力したメールアドレスに次のようなメールが届きます。メールに記載されている URL をクリックして登録が完了します。



この画面が表示されましたら登録完了です。

## GRAPHISOFT.ID

### おめでとうございます!

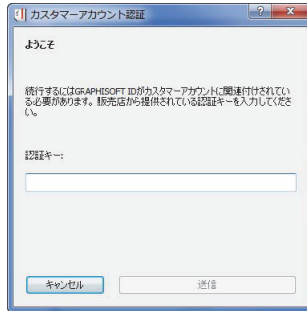
正常にGRAPHISOFT IDを作成しました。全てのGRAPHISOFTウェブサイトへアクセスできます。

[www.graphisoft.com](http://www.graphisoft.com)  
[www.myarchicad.com](http://www.myarchicad.com)  
[www.bimcomponents.com](http://www.bimcomponents.com)  
[bimx.graphisoft.com](http://bimx.graphisoft.com)

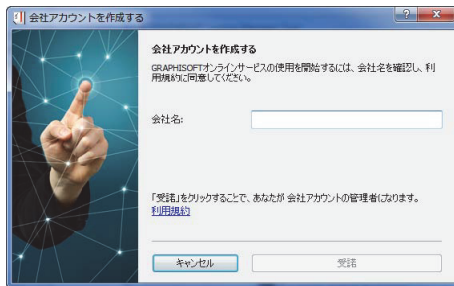
いくつかのサイトでは、アカウント作成中に追加情報を求められます。



- 4) サインインすると認証キーを入力するように求められます。  
注記：すでに認証済みの GRAPHISOFT ID を使用している場合は、License Manager Tool で再び認証する必要はありません。



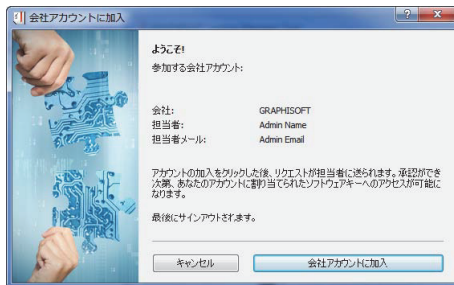
始めて認証キーを入力された場合は、"会社アカウントを作成する" ダイアログボックスが表示されます。



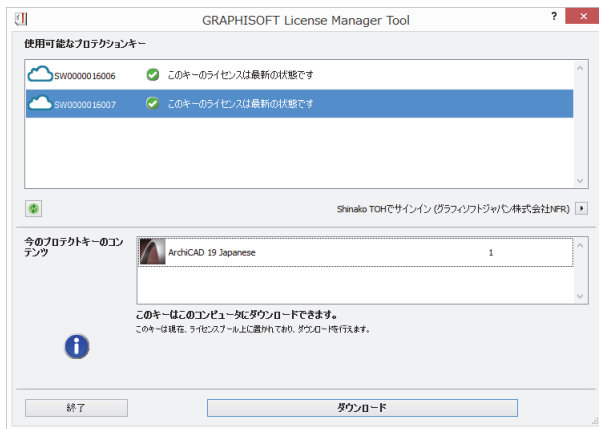
会社名を入力または確認してください。

受諾をクリックすると会社アカウントを管理する会社管理者になります。管理者は、会社アカウントにメンバーとして参加リクエストがあると、通知メールが届きます。認証キーを入力ときに「会社アカウントに加入」と表示された場合は、会社アカウントが既に作成されていることを意味します。

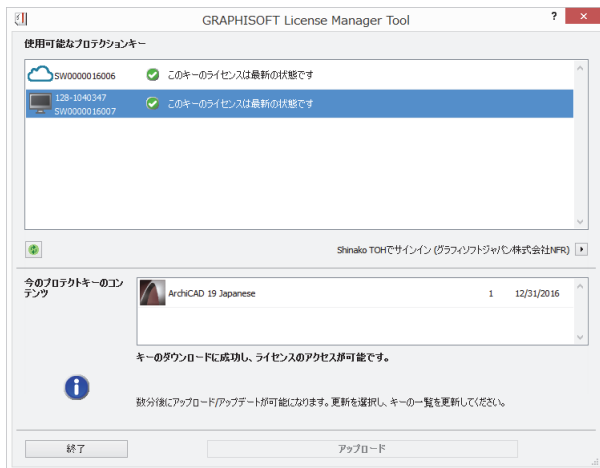
アカウントに加入をクリック。あなたの管理者に自動的に通知が届きます。



- 承認されましたら、License Manager Tool にサインインします。ここで管理者から与えられたアクセス可能なソフトウェアキーのダウンロードができます。サインインしていない場合は、ライセンスプール内のソフトウェアキーは表示されません。
- プロテクションキーの選択リストから、必要なキー（雲型アイコンで表示されているもの）を選択してダウンロードをクリックします。



ダウンロードが完了しますと、次のダイアログが表示されます。ダウンロードしたソフトウェアライセンスのアップロードは数分後から可能になります。



## ライセンスキーのアップデート

インターネット接続が必要です。

- 1) コンピュータから License Manager Tool を起動します。起動しましたら「次へ」をクリックします。License Manager Tool のインストールは [10 ページ](#)をご覧ください。



- 2) 更新ができる場合、更新内容が表示されます。ご確認いただき「更新」をクリックします。



## ハードウェアライセンスキー交換手順のご案内

License Manager Tool は下記 URL より入手インストールしてください。

<http://www.graphisoft.com/downloads/licensing/>

インストールは 10 ページ「ライセンスについて」をご覧ください。

License Manager Tool は、64 ビットアプリケーションであり、32 ビットオペレーティングシステムでは動作しません。

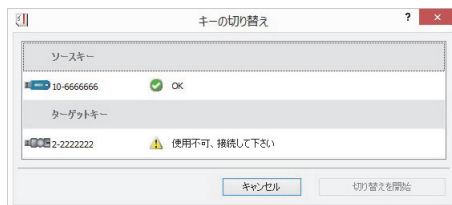
32ビットシステムでプロテクションキーをアップデートするにはWebサイト(Javaプラグインが必要)をご利用ください

注記：WIBU → CodeMeter を例としておりますが、CodeMeter → CodeMeter も同手順となります。

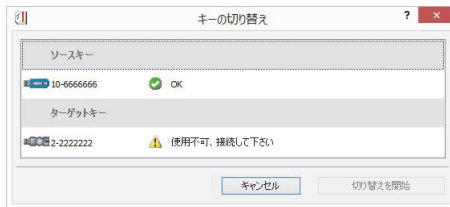
- 1) USB ポートに A: 交換元のソースキー を挿し、License Manager Tool を起動して「次へ」をクリックします。



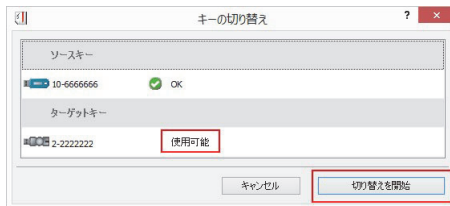
- 2) A: 交換元のソースキー の番号が表示されましたら、「次へ」をクリックします。



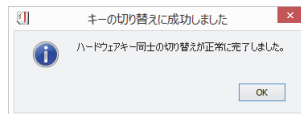
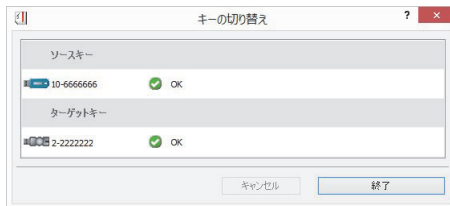
- 3) 次のダイアログが表示されましたら、**A: 交換元のソースキー**を抜き、**B: 交換先ターゲットキー**に挿し替えます。



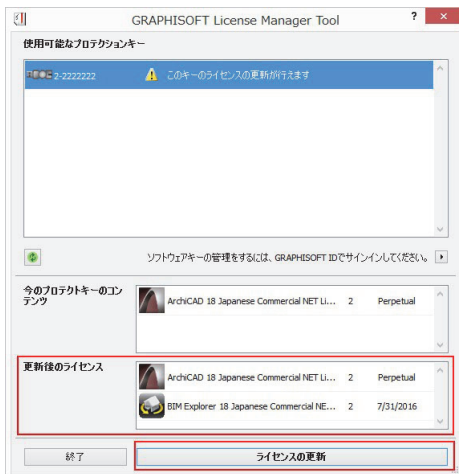
- 4) **B: 交換先ターゲットキー**を挿し、「使用可能」と表示されましたら「切り替えを開始」をクリックします。



- 5) **B: 交換先ターゲットキー**の状態が「OK」になりましたら「終了」をクリックします。切り替えに成功しましたら、OKをクリックします。



- 6) 「更新後のライセンス」欄に未更新分のコンテンツがある場合は、引き続きライセンスの更新をクリックして更新します。



- 7) 更新が正常に完了しましたら終了です。



# ARCHICAD 20

## ハードウェア / ソフトウェア条件

ハードウェア/ソフトウェア条件は、適宜変更されます。最新のハードウェア/ソフトウェア条件については、次のリンクを参照してください。

<http://www.graphisoft.co.jp/archicad/archicad20/faq.html>

## ARCHICAD 20 のインストール：シングルライセンス

以降のセクションでは、コンピュータにARCHICADプログラムをインストールする手順について説明します。

ARCHICAD DVDをコンピュータのDVD-ROMドライブに挿入するか、ARCHICAD 20をコンピュータにダウンロードします。

[\[5ページ「ダウンロード」\]](#) を参照してください。

### 1) スタートアップ画面

ARCHICAD DVD を挿入するか、ARCHICAD 20 ダウンロードフォルダをダブルクリック（展開）します。スタートアップ画面が表示されます。

### 2) インストールウィザードの開始

[GRAPHISOFT ARCHICAD をインストール] をクリックして、ARCHICAD インストールウィザードを開始します。

### 3) ようこそ画面

インストールを続行する前に、実行中の全てのプログラムを閉じてください。[\[次へ\]](#) をクリックして続行します。

### 4) ライセンス契約

ライセンス契約をよく読んで、「同意する」にチェックし、[\[次へ\]](#) をクリックします。

### 5) プログラムフォルダの選択

このページで、インストール先のファイルパスを指定します。通常デフォルトで指示されるパスを選択すると、今後のアップデートインストールに手間がかかりません。



---

ファイルパスを確定する場合は、[次へ] をクリックします。

## 6) 設定タイプを選択

「標準」インストールオプション（推奨）では、ARCHICAD 20 Soloとその全てのコンポーネント（ライブラリ、マニュアル、ARCHICAD ヘルプなど）がインストールされます。

また、「カスタム」インストールオプションを選択すると、特定のプログラムコンポーネントのみインストールされます。

選択して [次へ] をクリックします。

## 7) インストール概要

この画面では選択した設定を案内しています。必要に応じてインストール設定を修正できます。

[インストール] をクリックしてインストールを開始します。

## 8) インストール

ハードウェア構成によっては、このプロセスに数分かかることがあります。

## 9) 作業環境のインポート

この画面は、インストーラが以前のバージョンの ARCHICAD をマシン上で検出した場合に表示されます。[はい] を選択すると、以前のバージョンの ARCHICAD から最新の作業環境の設定が ARCHICAD 20 Solo にインポートされます。

注記：以前のバージョンの ARCHICAD から作業環境の設定をインポートすると、ARCHICAD 20 Solo の新しい機能とコマンドが自動的に表示されなくなります。

この場合、インストール後に [作業環境] のメニューの設定を使用して新しいコマンドを追加することができます。

[次へ] をクリックして選択を確定します。

## 10) ショートカット/自動更新

ここで、ARCHICAD 20 Solo のデスクトップショートカットを作成できます。

[更新の確認を自動で行う]（デフォルトではオン）の設定を確認します。

[次へ] をクリックして選択を確定します。

11)インストールプロセスに **CodeMeter** のインストールが含まれる場合は、ここでコンピュータを再起動するように指示されます。

## 12)インストールの完了

[終了] をクリックして、インストールプロセスを完了します。コンピュータを再起動するように指示される場合があります。

---

# ARCHICAD のライセンス

ARCHICAD を起動すると、プログラムが自動的に利用可能なライセンスを確認します。利用可能なライセンスが存在する場合、ARCHICAD で作業を行うことができます。

ライセンスキーの更新、ダウンロード、管理を行うには、License Manager Tool を使用します (<http://www.graphisoft.com/downloads/licensing/> からダウンロードいただけます)。

## ハードウェアキー

ハードウェアキー（ dongle ）は、ライセンス情報を含む USB スティックです。最新バージョンの ARCHICAD を使い始める前に、このハードウェアキーをアップデートする必要があります。

アップデートプロセスでは、License Manager Tool を使用します (<http://www.graphisoft.com/downloads/licensing/>)。

License Manager Tool (LMT) を起動して、[20 ページ「ライセンスキーのアップデート」を参考に](#)、ハードウェアキーをアップデートします。

これで ARCHICAD 20 Solo を使用する準備が整います。

注記：ライセンスキーを ARCHICAD 20 Solo にアップデートしても、そのまま以前のバージョンの ARCHICAD (10-19) を使用できます。

## ソフトウェアキー

ソフトウェアキーはソフトウェアベースのライセンスです。USB スティック等の物理的なキーは使用しません。License Manager Tool を使用すると、ライセンスキーをライセンスプールからローカルクライアントコンピュータにダウンロードできます。ソフトウェアキーを最新の ARCHICAD バージョンにアップデートするには、License Manager Tool を起動して、[20 ページ「ライセンスキーのアップデート」を参考に](#)、ライセンスを最新バージョンにアップデートします。シングルライセンスを使用している場合に、別のコンピュータでの作業を予定している場合は、ソフトウェアキーをライセンスプールにアップロードして、別の場所からアクセスできるようにします（インターネット接続が必要です）。

注記：ネットワークライセンスを使用している場合は、ソフトウェアキーをライセンスプールにアップロードする必要はありません。

## デモモード

ARCHICAD を起動すると、プログラムが自動的に利用可能なライセンスを確認します。ライセンスを所有していない場合は、デモモードで続行できます。

デモモードでは、ファイルの保存とチームワーク以外の全ての機能を利用できません。全てのARCHICAD ファイルで機能を表示して試用できます。

使用できないコマンドやメニュー項目は無効になり、ARCHICADのタイトルバーはARCHICAD 20 Solo DEMOに変わります。

ARCHICADプログラムは、次のような場合にもデモモードに制限されます。

- キーがコンピュータに取り付けられていない
- 所有している全てのARCHICADライセンスが使用中である
- ハードウェアキーに不具合がある
- CodeMeterサービスが稼働していない

## ライセンスキーの紛失または不具合

ライセンスキーを紛失したまたは不具合がある場合は、特約店にお問い合わせください。

## ARCHICAD の追加 / 修復

ARCHICAD を既にインストールしている場合にインストールウィザードを起動すると、次の2つのオプションが表示されます。

- 1) [追加] では、現在のインストールに新機能を追加します。追加できる全ての機能が一覧表示されるので、現在のインストール内容に追加する機能を確認できます。
- 2) [修復] では、現在のインストール内容の機能で ARCHICAD を再インストールします。カスタマイズした設定/ファイルをバックアップフォルダに保存することを選択できます。このオプションを選択した場合は、「バックアップ」フォルダが [ARCHICAD 20 Solo] フォルダに作成されます。バックアップフォルダの名前には、ARCHICAD バージョンと作成日付が含まれます。このフォルダには以下が保存されます。

- アドオン設定
- ARCHICAD 20ライブラリ
- 作業環境の設定

これらのファイルは、修復プロセスが完了したら、削除するか、修復済み ARCHICAD 環境にコピーし直して再利用できます（次のステップに従います）。これで、これらの設定とファイルの使用を継続できます。

- 1) [ARCHICAD 20 Solo/Add-Ons] フォルダの各サブフォルダにアドオン設定をコピーします。
- 2) [ARCHICAD 20/ARCHICAD Solo Library 20] フォルダのライブラリを置き換えます。
- 3) [ARCHICAD 20 Solo] フォルダの [デフォルト] フォルダを置き換えます（現在の作業環境、変換設定、テンプレートのデータが組み込まれます）。

[ARCHICAD 20 Solo] フォルダに保存したプロジェクトファイルは、修復プロセスによって削除または上書きされることはありません。

注記：修復プロセスにより、ARCHICAD バージョンがデフォルト設定に戻ります。修復後に、最新の ARCHICAD およびライブラリのアップデートを再インストールする必要があります。

## アップデート

ARCHICADやARCHICADライブラリのローカライズバージョンの使用可能なアップデートを確認するには、ARCHICAD 20 Solo を起動して [ヘルプ] メニューにアクセスします。

[更新を確認] コマンドではインターネットブラウザが開き、GRAPHISOFT の更新情報サイトが表示されます。ARCHICAD の現在のリリースと言語バージョンの更新パッチ (hotfix) がない場合は、ARCHICAD の最新バージョンを使用していることが Web ページに表示されます。更新パッチがある場合は、現在の ARCHICADインストール内容に適した更新パッケージが自動的に提供されます。

[オプション] → [作業環境] → [ネットワークとアップデート] でオプションを設定すると、[更新を確認]機能を定期的に自動実行するように設定できます。その他のダウンロード可能なデータ(サンプルファイル、アドオンツールなど)は [www.graphisoft.co.jp/download/](http://www.graphisoft.co.jp/download/) にあります。

注記：更新パッチをインストールし、元の ARCHICAD 20 Solo Installer DVD の [追加/修復] 機能を使用した場合は、修正や修復を行った後で更新を再度適用するよう求められます。

## 互換性情報

ARCHICAD 20 Solo のファイルは "Solo バージョンファイル" として保存されます。

ARCHICAD 20 Solo ファイルは Solo および、FULL(レギュラー版)の ARCHICAD で開くことができます。

ARCHICAD 20 Solo では ARCHICAD 19 形式でのみプロジェクトを下位保存することができます。

ARCHICAD 20 Solo の新機能に基づく全ての情報は、ARCHICAD 19 形式で保存したファイルでは失われます。

## ARCHICAD 20 Solo バージョンの機能制限

次の機能は ARCHICAD 20 Solo ではサポートされていません：

- チームワーク (チームワーク機能は利用不可、また共有ファイルを開けません)
- BIM Server
- CineRender レンダリングエンジン
- ライセンス借用
- ホットリンクモジュール、外部図面、XREF: 既存モジュール/図面/XREF の表示、削除、移動、コピーができますが、新規作成、配置、修正、コンテンツのアップデート、再リンクをすることはできません。ARCHICAD フルバージョンでプロジェクトを開くと、完全に機能します。

## ARCHICAD ファイルを開く

ARCHICAD 20 Solo では、ARCHICAD 8.1 以降のプロジェクトファイルを開くことができます。

旧バージョンのプロジェクトファイルを直接 ARCHICAD 20 Solo で開くことや、チームワークファイルを開くとはできません。このようなファイルは、ARCHICAD 8.1 以降のバージョンを使用して、使用可能なファイル形式に変換します。ARCHICAD の旧バージョンで作業した各プロジェクトのアーカイブファイル (.pla) を作成しておくことを強くお勧めします。旧バージョンでアーカイブを作成した場合に限り、プロジェクトを ARCHICAD 20 Solo に移行できます。

[『ARCHICAD ヘルプ』の「移行ガイド」も参照してください。](#)

教育版ファイルをARCHICAD 20 Soloで開くと、プログラムは教育版モードで起動します: 印刷/プロットされたページごとにウォーターマークテキストが表示されます。



## ツール / ユーティリティ

ARCHICADとともに、次のユーティリティがコンピュータに自動的にインストールされます。必要に応じて、ARCHICAD 20 Solo DVDの [ツール/ユーティリティ] メニューから単独のインストールパッケージを使用して、これらのユーティリティを手動でインストールすることもできます

Javaランタイム環境	ARCHICAD 20のインストーラ/アンインストーラを実行するにはJava 8以降が必要です。Macの場合、JavaはOSに付属しています。Windows の場合は、ARCHICAD 20 Solo のインストーラによってJava環境が確認され、必要に応じてJavaがインストールされます。
CodeMeterシステムのコンポーネント	ARCHICAD 20 Soloのインストールプロセスで、ハードウェアキードライバ (CodeMeter) がインストールされます。
Adobe Reader	[ARCHICAD 20 Solo/Documentation] フォルダに保存されているPDF形式のマニュアルを読むために、PDFリーダーが必要な場合があります。必要であればこのプログラムをインストールします。  ARCHICAD 20 Solo DVDを挿入して、ARCHICAD スタートアップ画面から [ツール/ユーティリティ] を選択するか、または DVD の内容を検索して、Adobe Reader アプリケーションの場所を見つけます。

ARCHICAD 20 とともに次のユーティリティもインストールされます。これらのユーティリティをインストールしない場合は、カスタムインストールを使用し、これらのオプションのチェックマークを外します。

GRAPHISOFT シェル 拡張	オプション（Windows のみ）。Windows の GRAPHISOFT 拡張ファイルプロパティ情報のオプションユーティリティです。
マニュアル	ARCHICAD の使用と関連する機能に関するヘルプが PDF 形式で提供されます。
ARCHICAD ヘルプ	ARCHICAD の電子ヘルプファイルで、コンテキストに対応して提供されます。
プロッタ	標準インストールでは、ARCHICAD 20 には各種 HPGL 互換プロッタ用ビルトインドライバが数多く含まれています。 プロッタ機能がエミュレーションのみのため、大判プリンタを使用している場合は、製造業者が指定しているプリンタドライバを使用してください。

その他のユーティリティについては、ARCHICAD メインフォルダで各アプリケーションのフォルダを開いて詳しい説明を参照してください。

---

## ARCHICAD のアンインストール

ARCHICAD 20 Solo を Windows からアンインストールするには、コントロールパネルから [プログラム] または [プログラムの追加または削除] ユーティリティの利用をお勧めします。

または、Windows と Mac 共通の方法として [ARCHICAD 20] フォルダの [Uninstall.AC] フォルダを開き、「Uninstaller」アプリケーションを選択してください。

ARCHICAD インストールウィザードによってインストールされたファイルが、アンインストールウィザードによって削除されます。複数の ARCHICAD をインストールしている場合は、システムにインストールされた CodeMeter と関連するコンポーネントを残すことができます。

ARCHICAD 20 Solo のインストールの過程でドライバがインストールされた場合は、[ハードウェアライセンスキードライバを削除] チェックボックスオプションがアンインストーラに表示されます。ドライバを削除しない場合や、特にインストール済みの他の ARCHICAD バージョンをそのまま保持して作業を継続する場合は、このオプションをオフにしてください。

ARCHICAD メインフォルダに保存した ARCHICAD プロジェクトファイルなど、ARCHICAD メインフォルダに作成したファイルは、アンインストーラによって削除されることはありません。

**重要：** ARCHICAD をアンインストールする前に Java を削除しないでください。

## サイレントアンインストール

Windows、Macの両方で、サイレントモードでARCHICADをアンインストールすることができます。このモードを使用すると、開始以外の操作を行わずに、アンインストールプロセスを最初から最後まで実行することができます。

Windowsの場合：スタートメニューから「実行」ウィンドウを開きます。Windows Explorer で、[ARCHICAD] フォルダの中の [Uninstall.AC] フォルダを開きます。uninstaller.exe をコマンドラインに移動します。パスがコマンドラインにコピーされます。

パスに続けて、以下を入力します。

```
/silent
```

例：

```
C:\Program Files\GRAPHISOFT\ARCHICAD 20 Solo\Uninstall.AC\uninstaller.exe /silent
```

注記：サイレントインストール後にコンピュータが自動的に再起動しないようにするには、パスの最後に次を追加します。

```
/norestart
```

例：

```
C:\Program Files\GRAPHISOFT\ARCHICAD 20 Solo\Uninstall.AC\uninstaller.exe /silent /norestart
```

Macの場合：[ターミナル] を開いて、[ARCHICAD install] フォルダの [Uninstall] フォルダに移動し、以下を入力します。

```
uninstaller.app/Contents/MacOS/uninstaller -silent
```

```
例：/Volumes/MyFolder/MySubfolder/ARCHICAD 20 Solo/Uninstall.AC/uninstaller.app/Contents/MacOS/uninstaller -silent
```

注記：サイレントインストール後にコンピュータが自動的に再起動しないようにするには、パスの最後に次を追加します。

```
-norestart
```

例：

```
/Volumes/MyFolder/MySubfolder/ARCHICAD 20 Solo/Uninstall.AC/uninstaller.app/Contents/MacOS/uninstaller -silent -norestart
```